

## 31日 土曜

### テサロニケⅡ

3:6 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟は、みな避けなさい。

3:7 どのように私たちを見習うべきか、あなたがた自身が知っているのです。あなたがたの間で、私たちは怠惰に暮らすことはなく、

3:8 人からただでもらったパンを食べることもしませんでした。むしろ、あなたがたのだれにも負担をかけないように、夜昼、労し苦しみながら働きました。

3:9 私たちに権利がなかったからではなく、あなたがたが私たちを見習うように、身をもって模範を示すためでした。

3:10 あなたがたのところに行ったとき、働きたくない者は食べるな、と私たちは命じました。

3:11 ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。

3:12 そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。

3:13 兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをきなさい。

3:14 もし、この手紙に書いた私たちのことばに従わない者がいれば、そのような人には注意を払い、交際しないようにきなさい。その人が恥じ入るようになるためです。

3:15 しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい。

3:16 どうか、平和の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに平和を与



えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。

3:17 私パウロが自分の手であいさつを記します。これは、私のどの手紙にもあるしるしです。このように私は書くのです。

3:18 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

「怠惰な歩み」とは、たとえば再臨はもう起きたと言って、実生活に身が入らないで、すべきことをおこたっている人々です。または「おせっかいばかりして…」とあるように、自分の現実や足元、そして責任から目をそらして生きる人々です。

聖書は神様から与えられた責任を全うするように教えています。多くの人々は仕事をしっかりとすることによって、それが成立するのです。仕事などの社会的責任を感謝しましょう。主のみこころは何であるかを、再確認、再認識して、主からそれを新たな思いで受け取りましょう。

また教会では怠惰な歩をする人をも愛しますが、それを助長するような助けをしません。その人が良き歩をできるように、そのことを助けます。そのためにも「模範」となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

